

HiKOKI

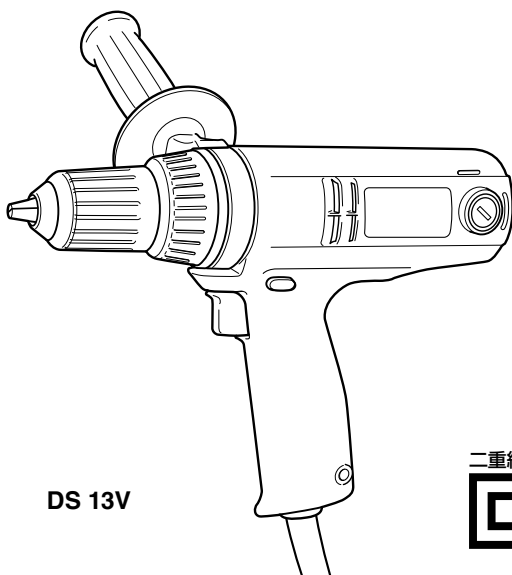
ドライバドリル

10 mm DS 10V

13 mm DS 13V

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



DS 13V

二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ドライバドリルの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕様	7
標準付属品	8
別売部品	8
用途	9
作業前の準備	9
ご使用前に	10
先端工具の取付け・取りはずし	11
使い方	12
使用範囲と注意事項について	15
締付トルクの選定	16
保守・点検	17
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」と「**⚠注意**」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「**注**」の意味も説明します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。

警告


- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
 - ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
 - ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
 - ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
 - ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
 - ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
 - ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
 - ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。
屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

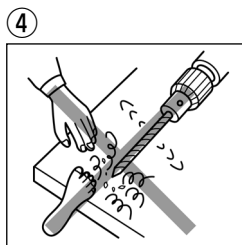
お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

ドライバドリルの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

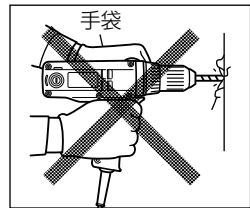
- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、工具類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



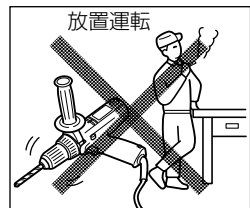
⚠️注意

- ① 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑤ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

②



⑤



各部の名称

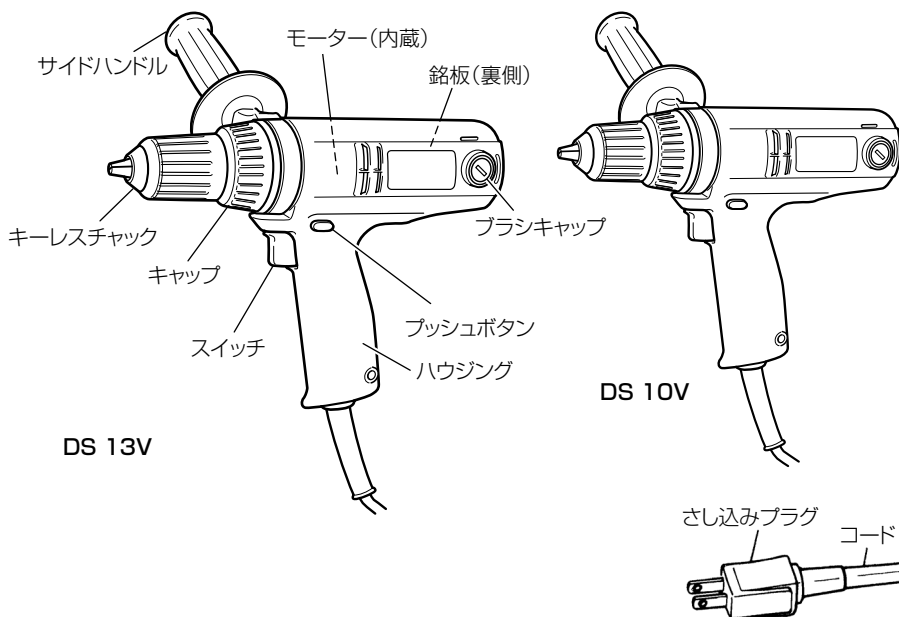
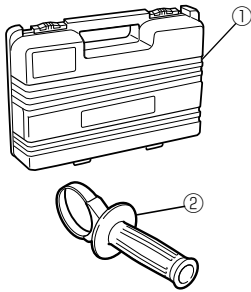


図 1

仕 様

		DS 10V	DS 13V
使	用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
能	穴あけ	鉄工	10 mm
		木工	24 mm
力	ねじ締め	小ねじ	6 mm
		木ねじ	呼び径 5 mm × 長さ 50 mm 呼び径 6.8 mm × 長さ 50 mm
モ ー タ ー		単相直巻整流子モーター	
全 負 荷 電 流		3 A	
消 費 電 力		290 W	
無 負 荷 回 転 数		0 ~ 1,800 min ⁻¹ {回/分}	0 ~ 650 min ⁻¹ {回/分}
質 量 (コ ー ド を 除 く)		1.4 kg	1.5 kg
コ ー ド		2心キャブタイヤケーブル 5 m	

標準付属品



- ① プラスチックケース …………… 1 個
- ② サイドハンドル …………… 1 個

図 2

別売部品 …………… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

1. フック……………コード No. 305411

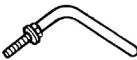
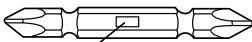


図 3-1

2. プラスドライバビット……………



ビット No.

図 3-2

用途 …… 頭がプラス溝の木ねじ、タッピンねじ、小ねじの締付け

寸法 ……

ビット No.	ねじ径
No.2	3 ~ 5 mm
No.3	5 ~ 5.5 mm

3. マイナスドライバビット……………

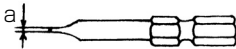


図 3-3

用途 …… 頭がマイナス溝の木ねじや、小ねじの締付け

寸法 ……

a	ねじ径
0.8 mm	4 mm
1 mm	5 ~ 6 mm

4. ヘグザゴンソケット……………

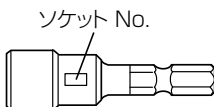


図 3-4

用途 …… ボルト、ナットの締付け

寸法 ……

ソケット No.	ねじ径
7	4 mm
8	5 mm
10	6 mm

用 途

- 小ねじ、木ねじ、タッピンねじなどの締付け、ゆるめ
〔使用例〕 アルミサッシ枠の取付け、カーテンレールの取付け、コンセントやスイッチボックスの取付け、その他日曜大工における木ねじ締め
- 各種金属、木材、プラスチックなどの穴あけ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ（延長）コード……………

警告

- 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 mm ²	20 m
1.25 mm ²	30 m
2 mm ²	50 m

左表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大長さを示します。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故の原因になります。スイッチは(図1参照)引くと入り、はなすと切れます。

スイッチを引き、はなしたとき戻ることを必ず確認してください。

3. サイドハンドルを取付ける……………

⚠警告

- サイドハンドルの握り部は十分に締付けてください。握り部の締付けがゆるいと作業時の反力を受けきれず、回ってしまい、けがの原因になります。

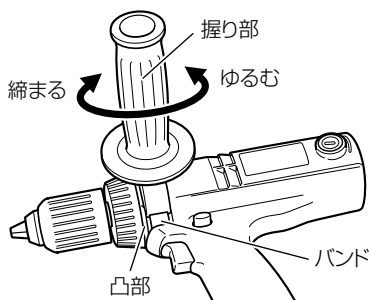


図 4

- (1) サイドハンドルの握り部をゆるめます。
- (2) バンドが凸部にのり上げないようにサイドハンドルをハウジング先端部にさし込みます。
- (3) 作業に合った角度に合わせて握り部を十分に締付けてください。

4. 錐の選び方……………

- (1) 金属やプラスチックなどに穴をあけるとき
使用錐径

形名	最小	最大
DS 10V	0.8 mm	10 mm
DS 13V	1.5 mm	13 mm

普通の鉄工錐をご使用ください。

(2) 木材に穴をあけるとき

木工錐最大穴あけ能力

形名	能力
DS 10V	24 mm
DS 13V	30 mm

木工錐をご使用ください。ただし6.5 mm以下の細い穴の場合は鉄工錐を使ってください。

5. ビットの選び方……………

ねじ径に合ったビットを使用してください。ねじ径に合わないビットを使用すると、ねじ頭部やビットを傷めます。(8ページ参照)

6. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

先端工具の取付け・取りはずし

⚠警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠注意

- 取付けや取りはずしの際、先端工具で手を傷付けないよう十分注意してください。

注 • スリーブを LOCK (固定) 側にスライドさせた状態で無理に回さないでください。キーレスチャックが損傷する原因になります。

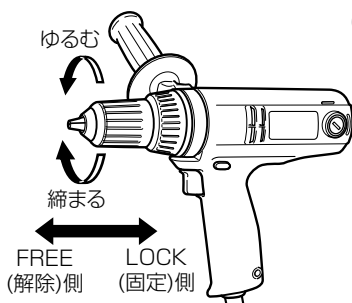


図 5

(1) 取付け方

- ① スリーブを FREE (解除) 側へスライドさせます。
- ② スリーブを左方向 (正面から見て反時計回り) に回すとキーレスチャックのつめが開きます。
- ③ ドライバビットなどをキーレスチャックに挿入後、スリーブを右方向 (正面から見て時計回り) に締めます。
- ④ 締付け後、スリーブを LOCK (固定) 側へスライドさせます。

注 • 必ずスリーブを、LOCK (固定) 側にスライドさせてから使用してください。

(2) 取りはずし方

- ① スリーブを FREE(解除) 側へスライドさせます。
- ② スリーブを左方向に回してゆるめ、取りはずします。

○スリーブがゆるまなくなった場合のゆるめ方

- ① 下記の方法で、ドライバビットや木工錐などが回転しないように固定します。
 - ドライバビットなどの固定例… ドライバビットなどをネジ頭に強く押しつけ固定する。
 - 木工錐などの固定例…………… 木片に木工錐などを強く押しつけ固定する。
- ② スリーブを FREE(解除) 側へスライドさせます。
- ③ キャップの位置を「3～13」にしてスイッチを入れ、モーターを回転させます。
- ④ スリーブを左方向に回して、ゆるめます。

使 い 方

1. 回転方向を確かめる……………

注 •回転方向を変えるときは、必ずスイッチを切ってモーターの回転が止まってから、プッシュボタンを操作してください。スイッチを切らずに直接プッシュボタンを切替えると、故障の原因になります。

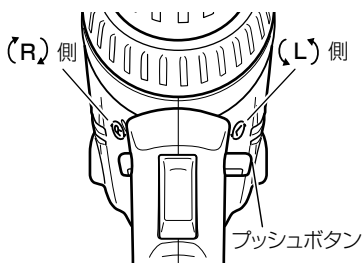


図 6

プッシュボタンを (R) 表示側から押すと後側から見て右へ回り、(L) 表示側から押すと左へ回ります。(図 6)

((R) (L) は外枠に表示してあります。)

- スイッチの引込み量により回転数が変わります。ねじ締め開始や、穴あけのセンター決め時、ゆっくりスタートしてください。

2. キャップの位置を確かめる……………

キャップ位置の調整で締付トルクが変えられます。

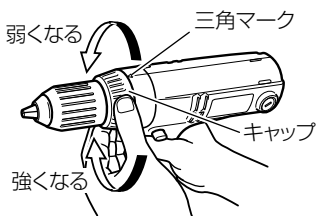


図 7-1

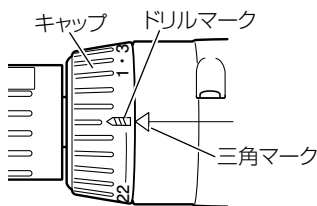



図 7-2

- 注**
- キャップの数字「1、3、5、…、22」または白丸の間では固定できません。(図7-3)
 - 「22」とドリルマーク「」の中間の白線部分では使用しないでください。故障の原因になります。(図7-4)

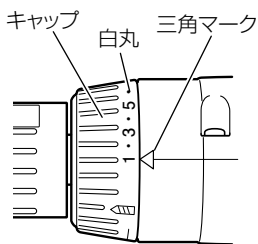


図 7-3

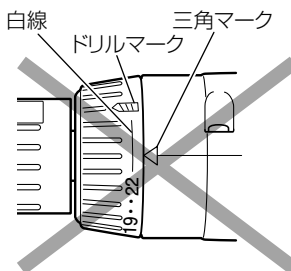


図 7-4

3. 締付トルクの調整……………

(1) 締付トルクについて

締付トルクは、ねじ径に応じた強さに調整してください。

強すぎるとねじが切れたり、ねじ頭を傷めますので締付けるねじに合わせて締付トルクを調整してください。(16 ページの表 3 参照)

(2) 締付トルクの表示について

締付トルクは、ねじの種類、締付材料などにより異なります。キャップの数字「1、3、5、…、22」と白丸で締付トルクの目安を示しています。締付トルクは1の位置が最も弱く、数字が大きくなると段々強くなります。(図7-1)

(3) 締付トルク調整の仕方

キャップを回し、キャップの数字「1、3、5、…、22」または白丸を外枠の三角マークに合わせます。

締付トルクが弱いときは一段強い方に、強いときは一段弱い方にキャップを調整してください。

(4) 手締め機構について

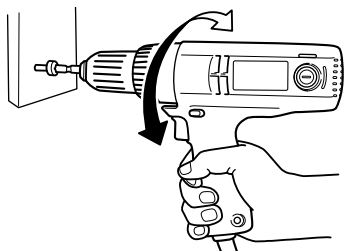


図 8

手締め機構がついており、手回しドライバとして使えます。

スイッチを切り、機体を回してください。

注 ●ヘグザゴンソケットなどでの無理な締付けや、締めりすぎたねじの無理なゆるめには使用しないでください。

4. 電気ドリルを押す力は……………

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、機体の寿命も短くなります。

5. 突き抜け穴をあける場合……………

穴の抜けぎわに錐を折ることがあります。穴の抜けぎわに押す力をゆるめることが大切です。

6. フック (別売部品) の取付け方……………



図 9

① フックを機体 A 部の穴にさし込み、時計方向に回します。

ナットがハウジングの座面についたらスパナでしっかり締付けます。(図9)

② フックは反対側にも取付けることができます。同じ手順で行ってください。

③ フックは腰ベルト、または最大径28mmまでのパイプなどに掛けることができます。

7. 使用直後の注意……………



警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

使用後はスイッチを切って、先端工具の回転が止まってから機体を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

使用範囲と注意事項について

下表に各種作業での使用可能範囲を示します。

(使用可能範囲は、穴あけやねじ締め材料の種類、硬さ、錐の切れ味などにより異なりますので、一応の目安と考えてください。)

DS 10V

表 1

作 業	キャップ位置	使用可能範囲	注 意 事 項
穴 あ け		鋼 材、錐径 10 mm (板厚 1.6 mm)	ホールソーで連続作業する場合は穴あけ後、約 10 秒間無負荷運転してください。
		アルミ、錐径 10 mm (板厚 1.6 mm)	
		木 材、錐径 24 mm (板厚 18 mm)	
		ホールソー、錐径 33 mm (板厚 1.6 mm)	
ねじ締め	1 ~ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1 ~	呼び径 5.0 mm × 長さ 50 mm	下穴をあけてご使用ください。

DS 13V

表 2

作 業	キャップ位置	使用可能範囲	注 意 事 項
穴 あ け		鋼 材、錐径 13 mm (板厚 1.6 mm)	ホールソーで連続作業する場合は穴あけ後、約 10 秒間無負荷運転してください。
		アルミ、錐径 13 mm (板厚 1.6 mm)	
		木 材、錐径 30 mm (板厚 18 mm)	
		ホールソー、錐径 35 mm (板厚 1.6 mm)	
ねじ締め	1 ~ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1 ~	呼び径 6.8 mm × 長さ 50 mm	下穴をあけてご使用ください。

締付トルクの選定

⚠注意

- キャップをドリルマーク位置にしたままでボルト、ナットの締付けをしないでください。締付け完了と同時に大きな負荷がかかって、振り回される恐れがあり、けがの原因になります。また、ボルトの破損や機体故障の恐れがあります。

キャップ位置における締付トルクと作業の目安を示します。

表 3

キャップ位置	締付トルク	作業の目安
1	約 0.49 N・m { 5 kgf・cm }	小ねじの締付け
3	約 0.98 N・m { 10 kgf・cm }	やわらかい木材への
9	約 1.96 N・m { 20 kgf・cm }	ねじ締付け
13	約 2.94 N・m { 30 kgf・cm }	かたい木材へのねじ締付け
17	約 3.92 N・m { 40 kgf・cm }	
22	約 4.9 N・m { 50 kgf・cm }	
◁□□□	DS10V : 約 7.85 N・m { 80 kgf・cm }	太い木ねじ締付け
	DS13V : 約 22.6 N・m { 230 kgf・cm }	ドリルとして使用時

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 錐の点検……………

錐の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

2. 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやねじのゆるみがないか定期的に点検してください。

ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

3. カーボンブラシの点検……………

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

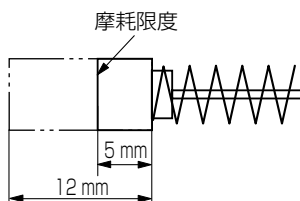


図 10

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 •新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図 1 参照)をはずしますと取り出せます。

4. モーターの取扱いについて……………

モーター（内蔵）(P.7「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** •ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

5. 表面のよごれの清掃……………

機体の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>